

地方創生SDGsの推進

—SDGsの取組による地域活性化に向けて—

村上 周三

東京大学 名誉教授

自治体SDGs推進評価・調査検討会 座長(内閣府)

地方創生SDGs金融調査・研究会 座長(内閣府)

国際フォーラムの経緯

① 第1回「環境未来都市」構想 推進国際フォーラム

2012.2. 於 東京都

② 第2回「環境未来都市」構想 推進国際フォーラム

2013.2. 於 北海道下川町

③ 第3回「環境未来都市」構想 推進国際フォーラム

2013.10. 於 福岡県北九州市

④ 第4回「環境未来都市」構想 推進国際フォーラム

2014.12. 於 宮城県東松島市

⑤ 「環境未来都市」構想推進 国際フォーラムinマレーシア

2015.2. 於 マレーシア・ジョホールバル市

⑥ 第5回「環境未来都市」構想 推進国際フォーラム

2015.10. 於 富山県富山市

⑦ 「環境未来都市」構想推進 国際フォーラムinポートランド

2016.2. 於 アメリカ合衆国・オレゴン州・ポートランド市

⑧ 第6回「環境未来都市」構想 推進国際フォーラム

2016.8. 於 神奈川県横浜市

⑨ 第7回「環境未来都市」構想 推進国際フォーラム

[環境未来都市構想とSDGsの理念]

2017.10. 於 千葉県柏市

⑩ 第1回地方創生SDGs 国際フォーラム

2019.2. 於 東京都

⑪ 第2回地方創生SDGs 国際フォーラム

2020.1. 於 東京都

⑫ 第3回地方創生SDGs 国際フォーラム

2021.1. 於 オンライン

⑬ 第4回地方創生SDGs 国際フォーラム

2022.1. 於 東京都+オンライン

論点

1. 地方創生SDGsの活動概要

2. SDGs導入の促進と深化

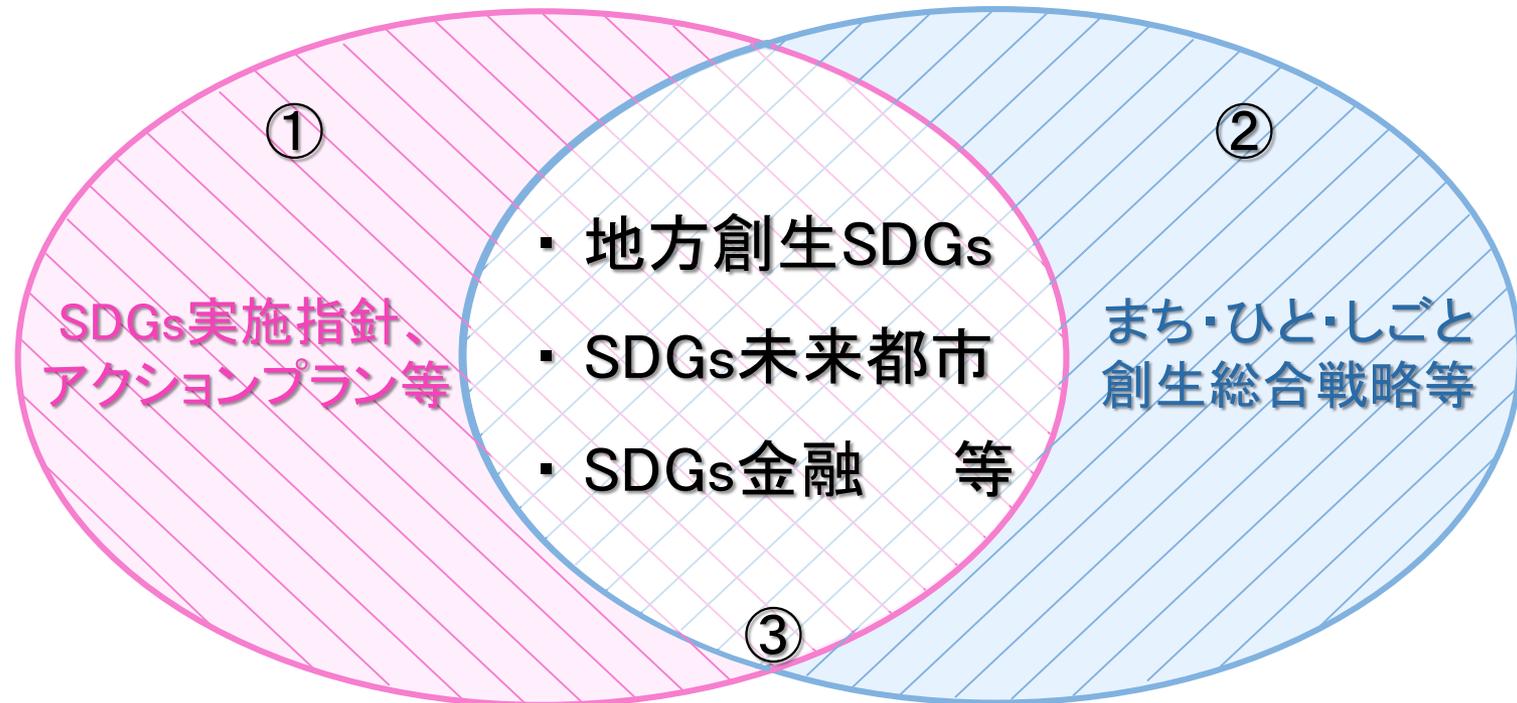
3. SDGs未来都市

4. 官民連携による地域経済活性化

地方創生SDGsに関連の深い政府の主要施策

① SDGs推進本部
における政策の集合
(政府)

② “まち・ひと・しごと創生”
に係る政策の集合
(内閣官房)



③ : ①と②の積集合
自治体SDGsに係る政策の多くはここに位置する

1. コロナ対策

- ・ ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC) 等

2. ビジネスとイノベーションを通じた成長戦略

- ・ DX、ESG投資、企業経営とSDGs、テレワーク 等

3. SDGsを原動力とした地方創生、経済と環境の好循環の創出

- ・ カーボンニュートラル、グリーン産業の索引と経済と環境の好循環 等
- ・ レジリエンス、インフラ整備、海洋プラスチックごみ対策 等
- ・ SDGs未来都市、官民連携プラットフォーム、SDGs金融の推進 等

4. 一人ひとりの可能性の発揮と絆の強化を通じた行動

- ・ 女性参画、ダイバーシティ、子どもの貧困対策、ESD 等

基本目標

1. 稼ぐ地域をつくとともに、
安心して働けるようにする
2. 地方への新しい
ひとの流れをつくる
3. 結婚・出産・子育ての
希望をかなえる
4. 安心して
暮らすことができる



横断的な目標

- ① 地域における
Society5.0の推進
- ② 地方創生SDGsの実現
持続可能なまちづくり
- ③ 地方創生の推進
- ④ 誰もが活躍する
地域社会の推進

1. 地方創生SDGsの普及促進活動の展開

2. 自治体によるSDGs達成のためのモデル事例の形成

⇒ SDGs未来都市（目標：210都市(2024)）

3. 官民連携プラットフォームを通じた民間参画の促進

⇒ 官民連携マッチング件数（目標：1,000件(2024)）

4. 地方創生SDGs金融の推進

⇒ 地方創生SDGs金融に取り組む自治体（目標：100団体(2024)）



**横断的
な目標** ・ 認知度向上
と普及促進 ⇒ 取組の
一層の深化 ⇒ 実効性のある
取組の実現へ

内閣府におけるSDGsの普及促進活動

1. 普及促進と深化の取組

- ① 全国自治体のSDGsの取組状況の定点観測（毎年10月）
- ② ローカルインディケーターの整備

2. モデル都市事業

- ① SDGs未来都市
- ② 広域連携SDGsモデル事業

3. 地域経済活性化の取組

- ① 官民連携プラットフォーム
- ② SDGs金融
 - 自律的好循環の形成
 - 地域企業の登録/認証制度
 - (金融機関+自治体)の表彰制度

⇒ SDGsの認知度の著しい向上（2017:16% → 2021:99%）

⇒ 認知度向上の時代から、取組の深化の時代へ

論点

1. 地方創生SDGsの活動概要

2. SDGs導入の促進と深化

3. SDGs未来都市

4. 官民連携による地域経済活性化

1. 多くの自治体にとってSDGs導入の壁は高い

- ⇒ SDGs自体は単に目標を並べたもの
 - ・そこに自治体活性化のシナリオが示されているわけではない
- ⇒ SDGsの概念の理解が難しく、理解が浸透しにくい

2. バリヤー克服の方法

- ⇒ 優れたモデルの提示と学習
 - ・SDGs未来都市、広域連携SDGsモデル事業
- ⇒ SDGsの理解を深化させる材料や、シナリオ作成の具体的手法の提示

3. シナリオ作成を支援するためのツールの整備

- ⇒ 課題整理 : マテアリティ、マッピング
- ⇒ シナリオ作成 : バックキャスティング、アウトサイドイン、
経済・社会・環境の統合的取組
- ⇒ 達成目標(KPI) : 3層構造(ゴール、ターゲット、インディケーター)、
ローカルインディケーター
- ⇒ フォローアップ : インパクト評価

自治体におけるSDGs導入のフロー

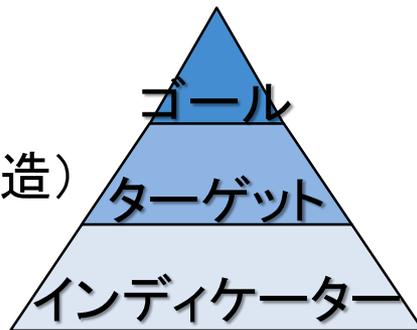
課題群と
マテリアリティ



達成目標の選定
(ゴール、ターゲット)

政策への落とし込み

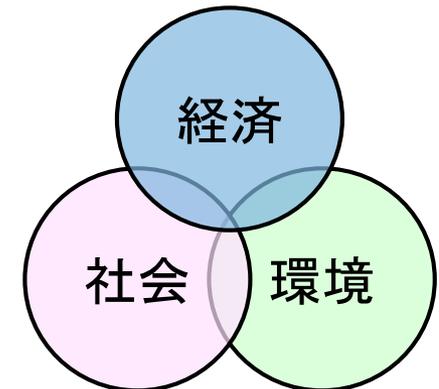
(3層構造)



ローカルインディケーター
に基づくKPIの設定

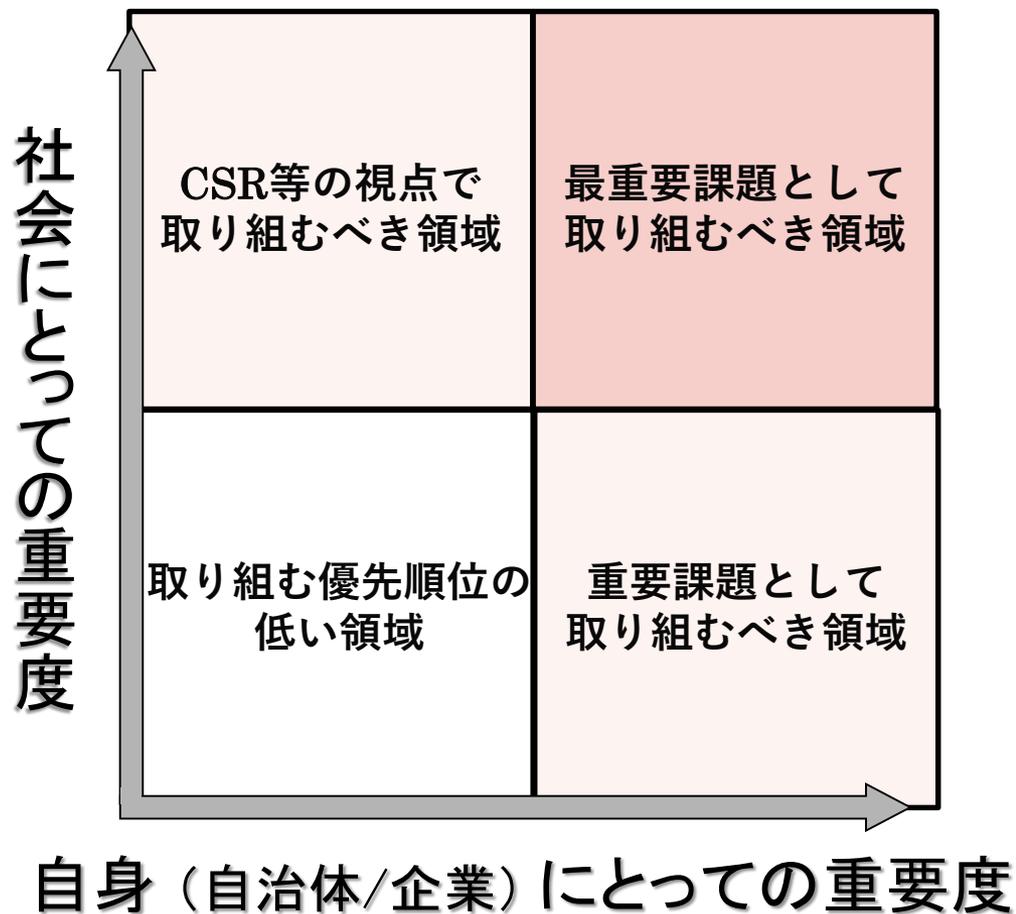


アクションプラン
(インパクト評価)



3側面に留意した
全体最適化

マテリアリティ（優先的取組課題）の整理方法



⇒ マテリアリティの選択において示される自治体／企業の価値観、見識

日本政府による8つの優先課題（マテリアリティ）

（SDGs推進本部、
2016.12）

1. あらゆる人々の活躍の推進
2. 健康・長寿の達成
3. 成長市場の創出, 地域活性化, 科学技術イノベーション
4. 持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備
5. 省・再生可能エネルギー, 気候変動対策, 循環型社会
6. 生物多様性, 森林, 海洋等の環境の保全
7. 平和と安全・安心社会の実現
8. SDGs実施推進の体制と手段

⇒ **ゴール、ターゲットから、日本にとっての
マテリアリティを選択して再構成**

⇒ **マテリアリティに基づいて、実施指針を作成**

1. 雇用

- ① 生産性の高い活力に溢れた地域経済の実現
- ② 観光業の強化
- ③ 農林水産業の成長産業化
- ④ 地方への人材還流、地方での人材育成

2. 一局集中の是正

- ① 政府関係機関の地方移転
- ② 企業の地方拠点強化等
- ③ 地方における若者の修学・就業の促進
- ④ 子供の農山漁村体験の充実
- ⑤ 地方移住の推進

3. 出生率の上昇

- ① 少子化対策における「地域アプローチ」の推進
- ② 若い世代の経済的安定
- ③ 出産・子育て支援
- ④ 地域の実情に即した「働き方改革」の推進

4. 生活とコミュニティ

- ① まちづくり・地域連携
- ② 「小さな拠点」の形成
- ③ 大都市圏の医療・介護問題・少子化問題への対応
- ④ 住民が地域防災の担い手となる環境の確保
- ⑤ ふるさとづくりの推進
- ⑥ 健康寿命をのばし生涯現役で過ごせるまちづくり
- ⑦ 省CO2と気候変動への適応
- ⑧ 自治体SDGsの推進

⇒ 求められる独自性のあるマテリアリティ

ゴールのマッピングと目標設定/取組計画

自身の取組をレビューし、SDGsとの関連を紐付ける

(事例)

ゴール	取組状況
1	△
2	×
3	◎
4	△
5	○
6	△
7	○
8	◎
9	○
10	◎
11	◎
12	○
13	○
14	×
15	△
16	×
17	△

後づけマッピング：
現状からSDGsへ

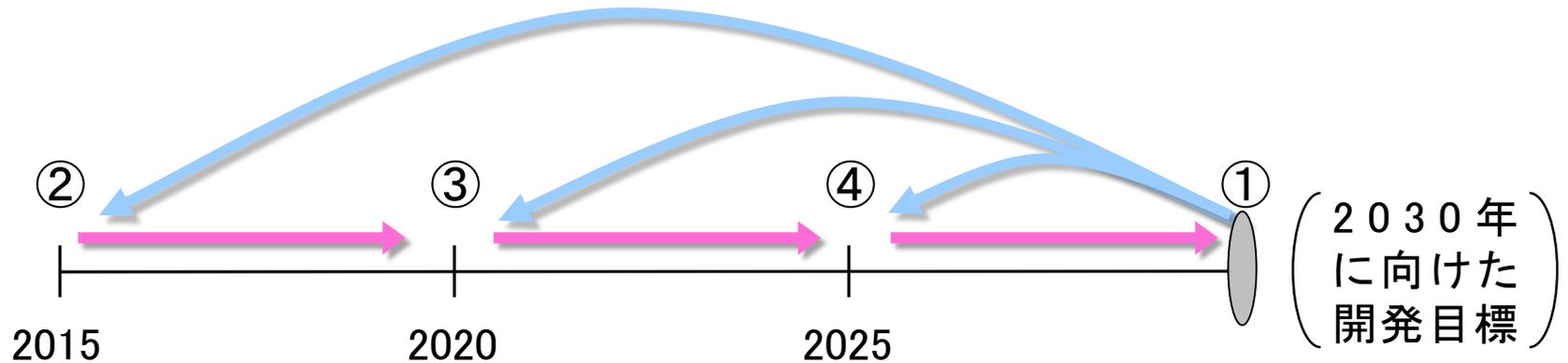
① 自身の課題の重要度の順位付け
(マテリアリティ)

② 2030年を展望した取り組みべきビジョン
(バックキャストとアウトサイドイン)

③ 目標全体に目配りした将来計画

先づけマッピング：
SDGsから将来計画へ

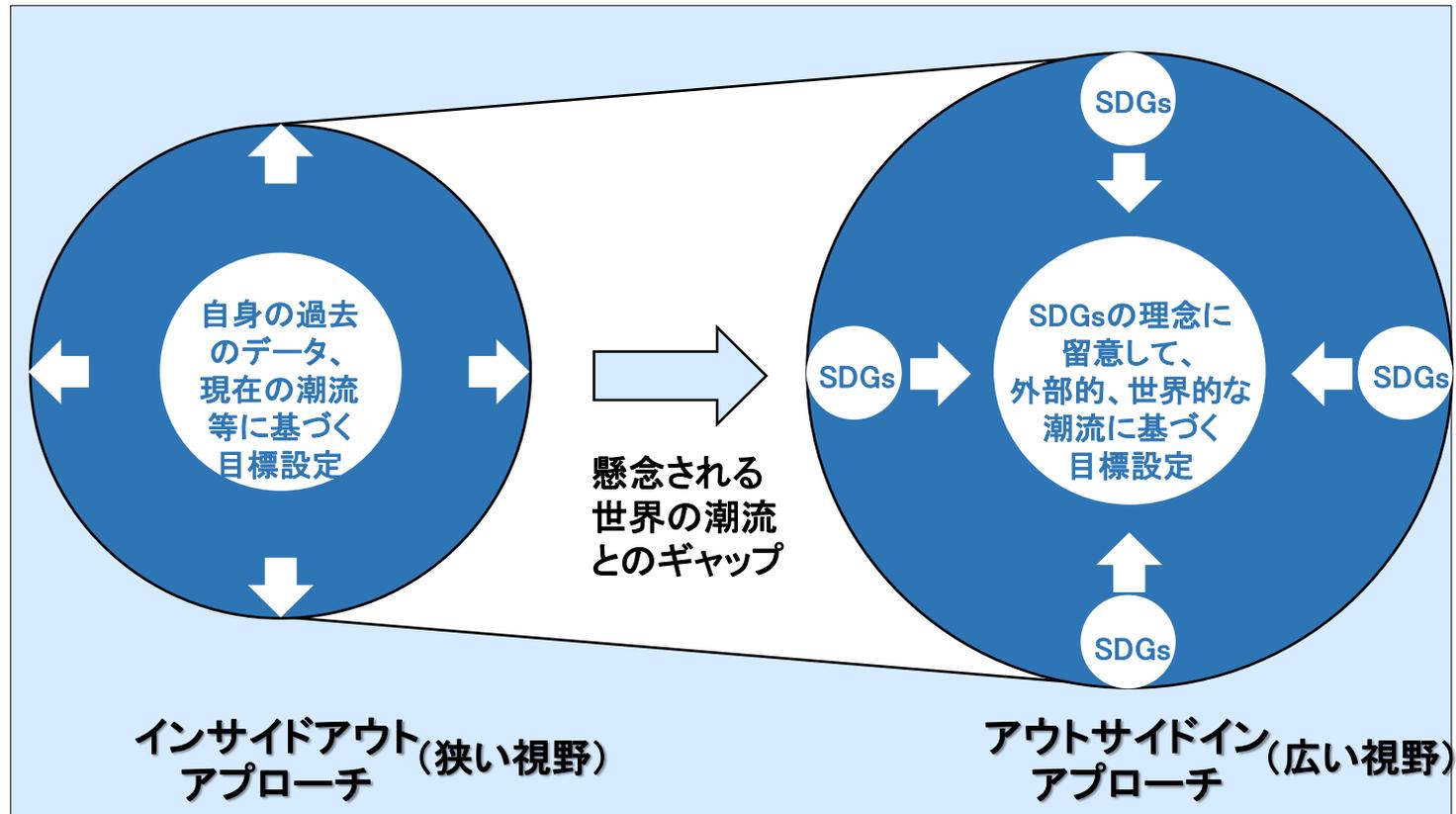
バックキャストिंगによる目標設定



あるべき将来像から逆算して設定 (Goal-based Governance)

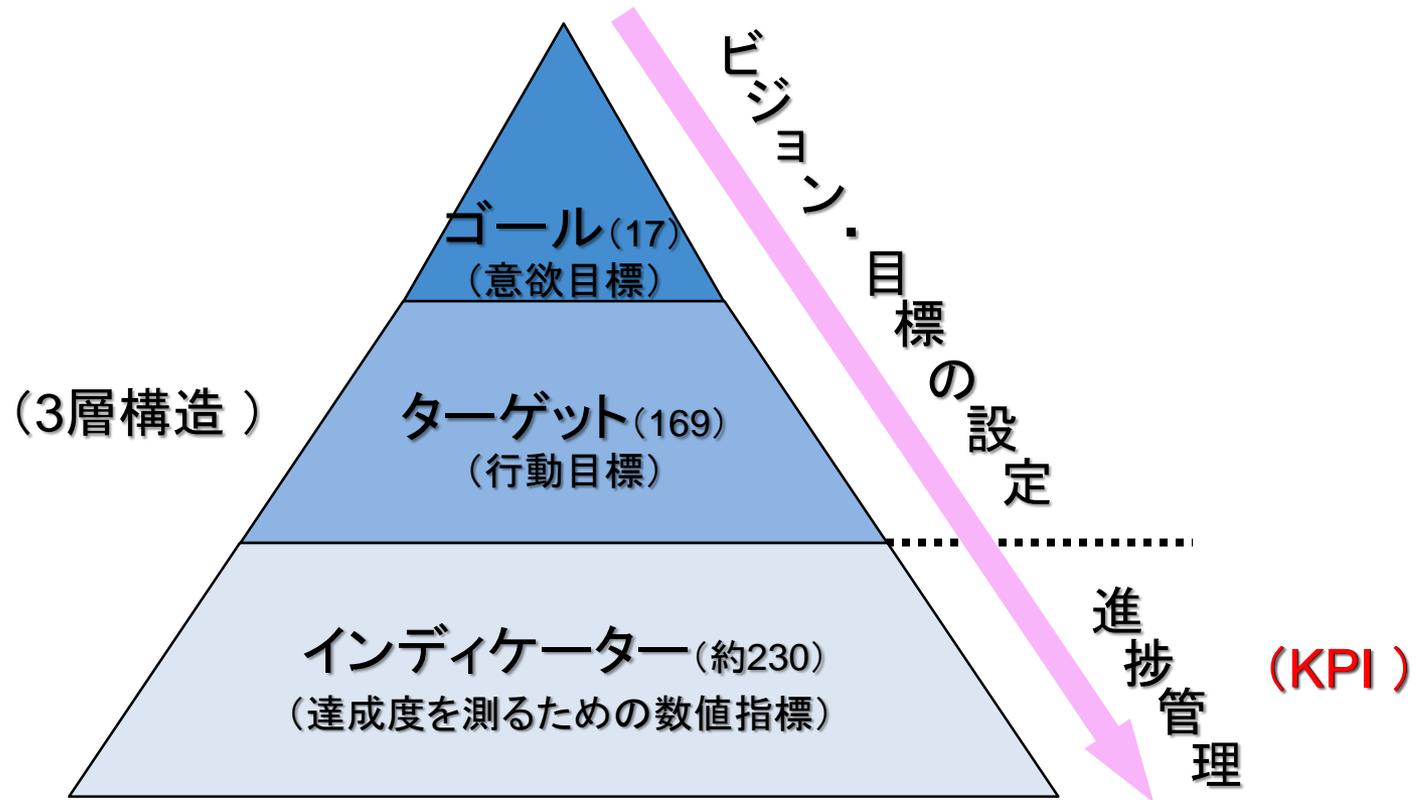
⇒ 長期的視点に立った取組の進捗管理

目標設定におけるアウトサイドイン・アプローチ



- ⇒ SDGsの導入がもたらすアウトサイドインの構造化
- ⇒ 後付けマッピングから先付けマッピングへ

KPIの設定とローカルインディケータの活用



- ⇒ グローバルなインディケータは自治体SDGsには利用しづらい
- ⇒ 日本独自のローカルインディケータの整備

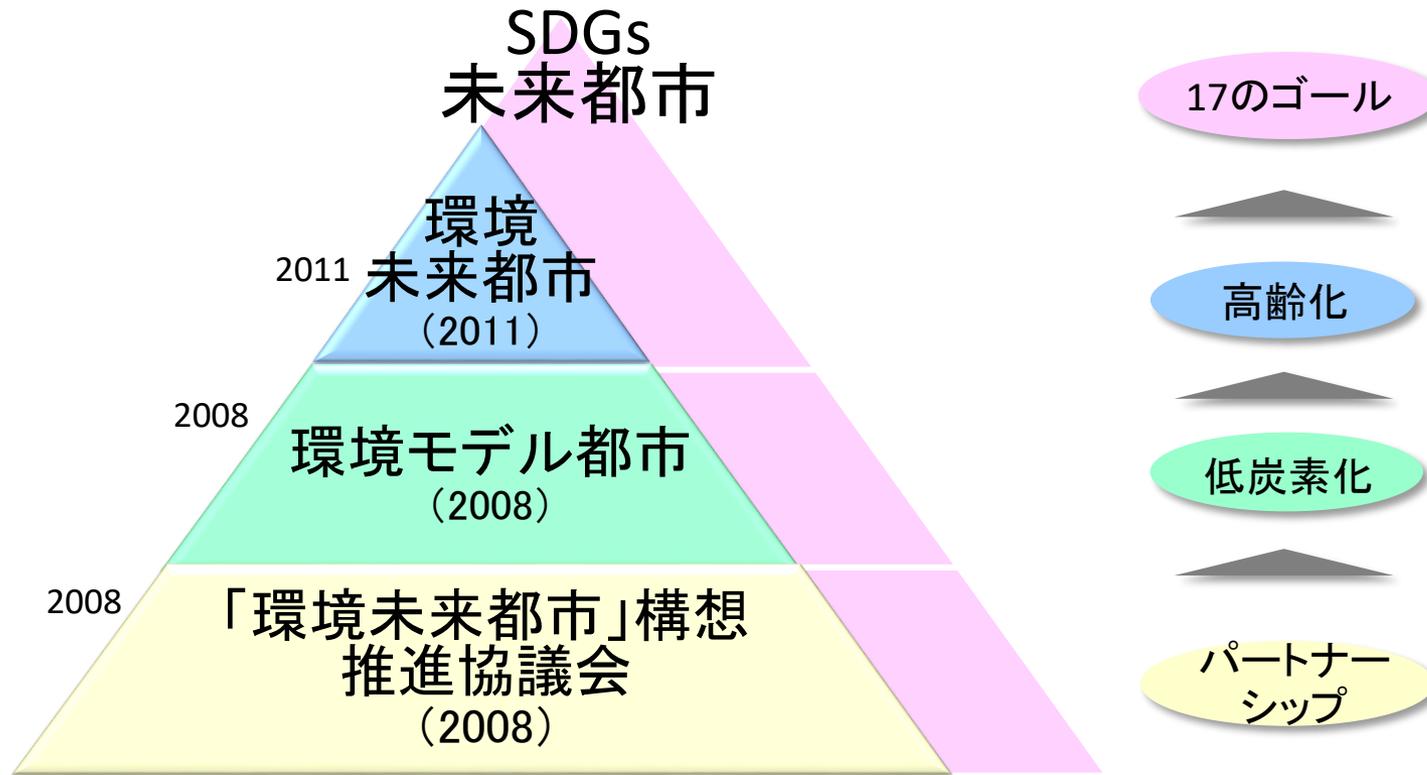
論点

1. 地方創生SDGsの活動概要

2. SDGs導入の促進と深化

3. SDGs未来都市

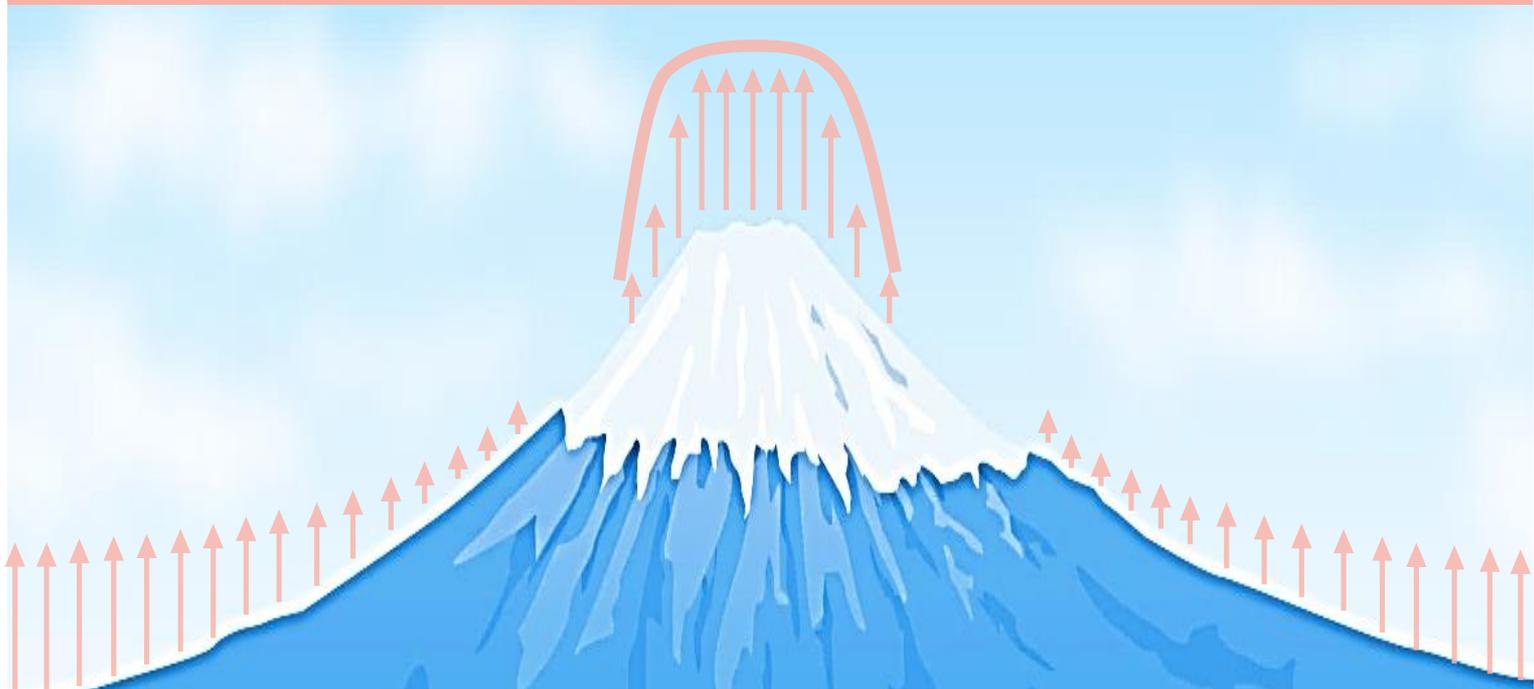
4. 官民連携による地域経済活性化



- ⇒ “環境未来都市”構想における先導的取組
 - ・ 環境、社会、経済の統合的取組
 - ・ 環境価値、社会的価値、経済的価値の創出
- ⇒ SDGs と “環境未来都市”構想の親和性

SDGs未来都市構想等のねらい： ①ピークを高くし、②裾野を底上げする

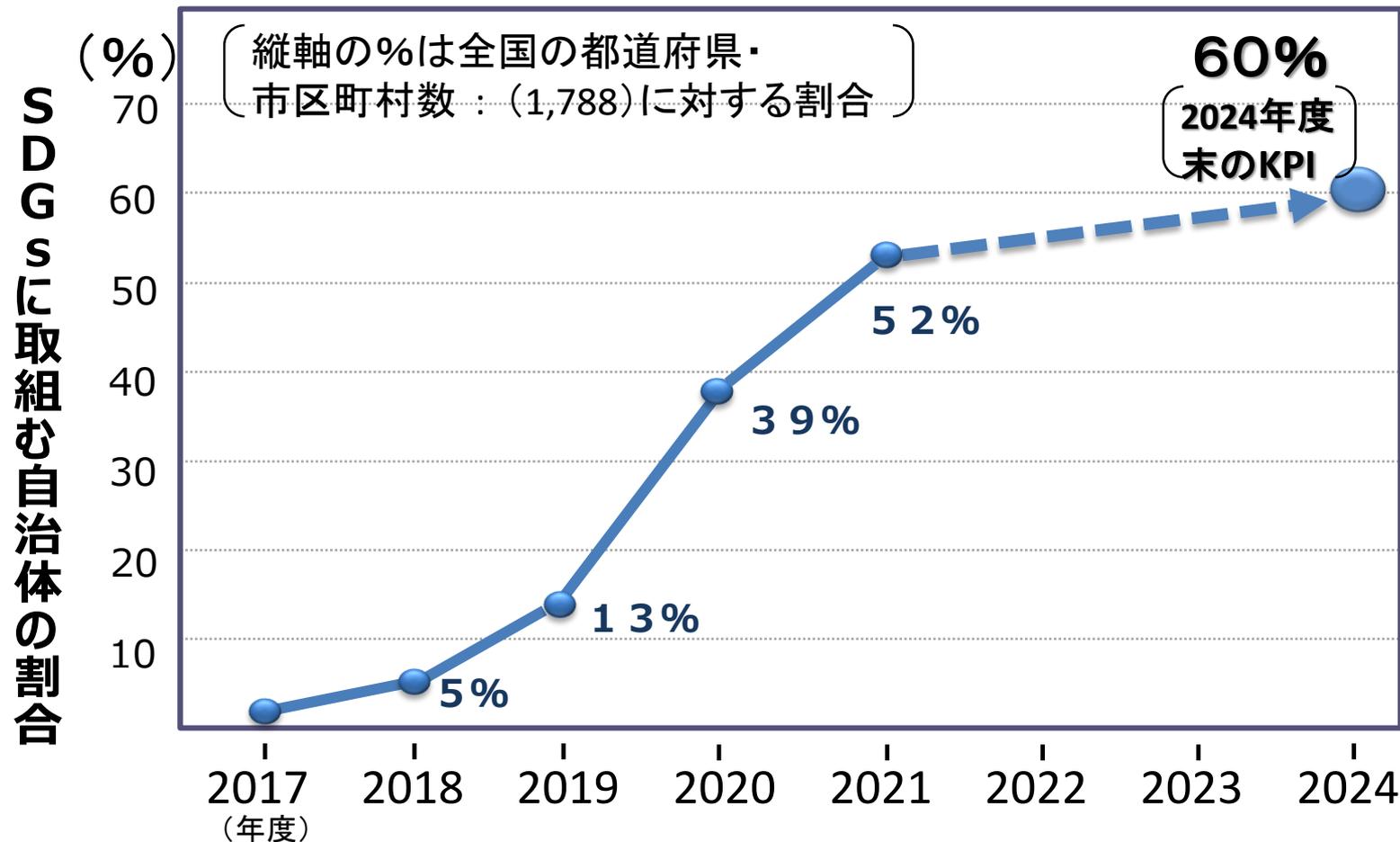
①政府による優良自治体の認定 ⇨ ピークを高くする



② ベストプラクティスの共有 ⇨ 裾野の底上げ

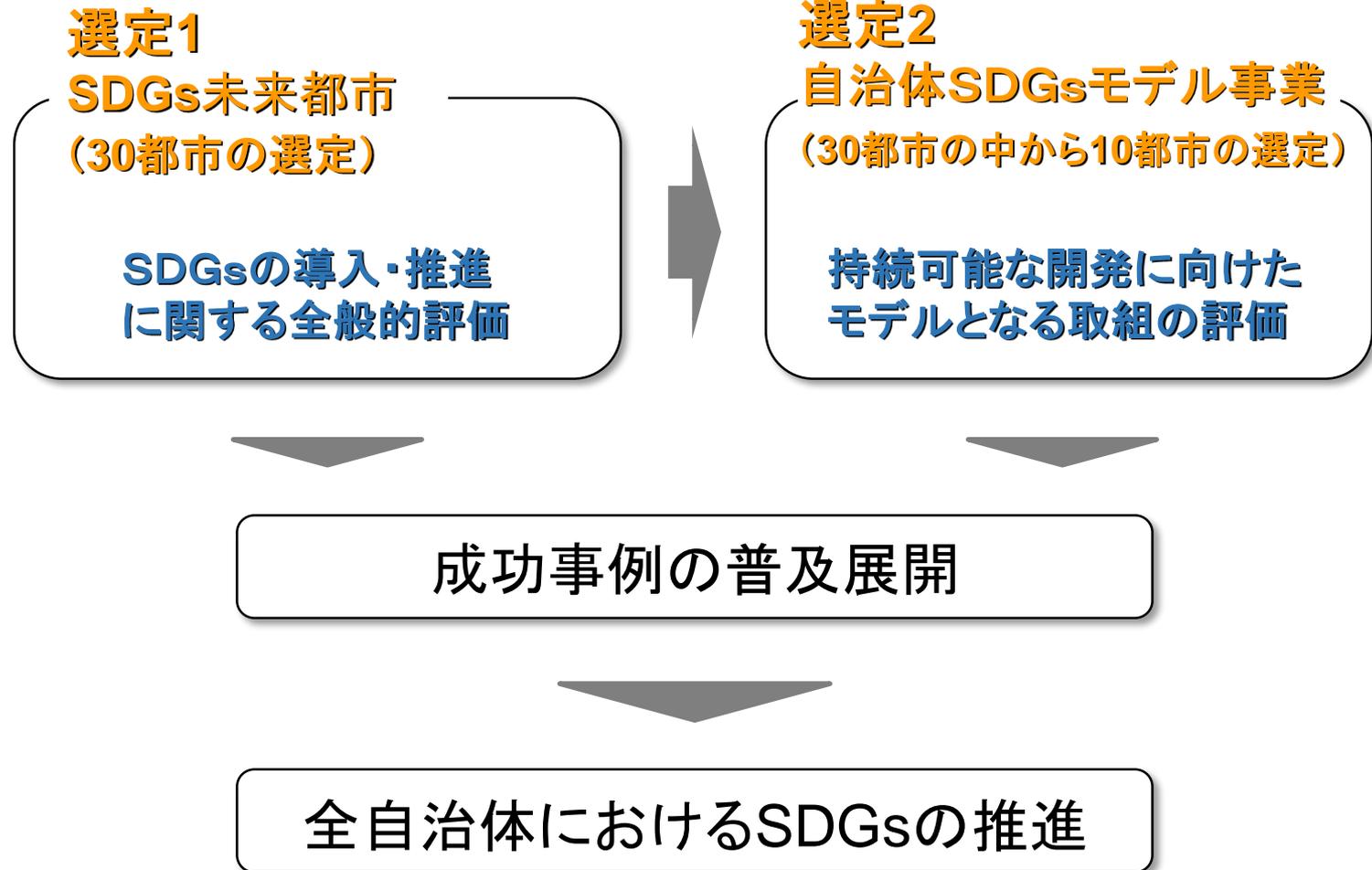
⇨ 裾野の底上げによる全国自治体の活性化

SDGsに取り組む自治体の割合



- ⇒ 国際的にみて、極めて高い水準
- ⇒ 小規模自治体に対する支援の必要性

「SDGs未来都市」選定の枠組



選定基準（評価項目と配点，全合計160点）

選定 1（30都市）		（合計80点）
1	将来ビジョン	合計15点
	(1) 地域の実態	(0～5)
	(2) 2030年のあるべき姿	(0～5)
	(3) 2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール	(0～5)
2	自治体SDGsの推進に資する取組	合計25点
	(1) 自治体SDGsの推進に資する取組 ※カーボンニュートラル実現につながる取組	(0～10) (0～5)
	(2) 情報発信	(0～5)
	(3) 普及展開性（自治体SDGsモデル事業の普及展開を含む）	(0～5)
3	推進体制	合計30点
	(1) 各種計画への反映	(0～5)
	(2) 行政体内部の執行体制	(0～5)
	(3) ステークホルダーとの連携	(0～10)
	(3-1) 域内外との連携 ※住民、企業・金融機関等	
	(3-2) 自治体間の連携（国内）	
	(3-3) 国際的な連携	
	(4) 自律的好循環の形成へ向けた制度の構築等	(0～10)
4	自治体SDGsの取組実現可能性	合計10点
	自治体SDGsの推進に向けた取組の実現可能性	(0～10)

選定 2（10都市）		（合計80点）
1.	選択したゴール、ターゲットの達成に向けた効果	(-)
	(1-1) 経済面	(0～5)
	(1-2) 社会面	(0～5)
	(1-3) 環境面	(0～5)
2.	三側面をつなぐ統合的取組	(-)
	(2-1) 統合的取組による全体最適化 ※三側面のバランスに留意した カーボンニュートラルの実現に向けた取組	(0～15) (0～5)
	(2-2) 経済、社会、環境の各側面の相乗効果等	(0～15)
3.	多様なステークホルダーとの連携	(0～5)
4.	自律的好循環の具体化に向けた事業の実施	(0～15)
5.	自治体SDGsモデル事業の実現可能性	(0～10)

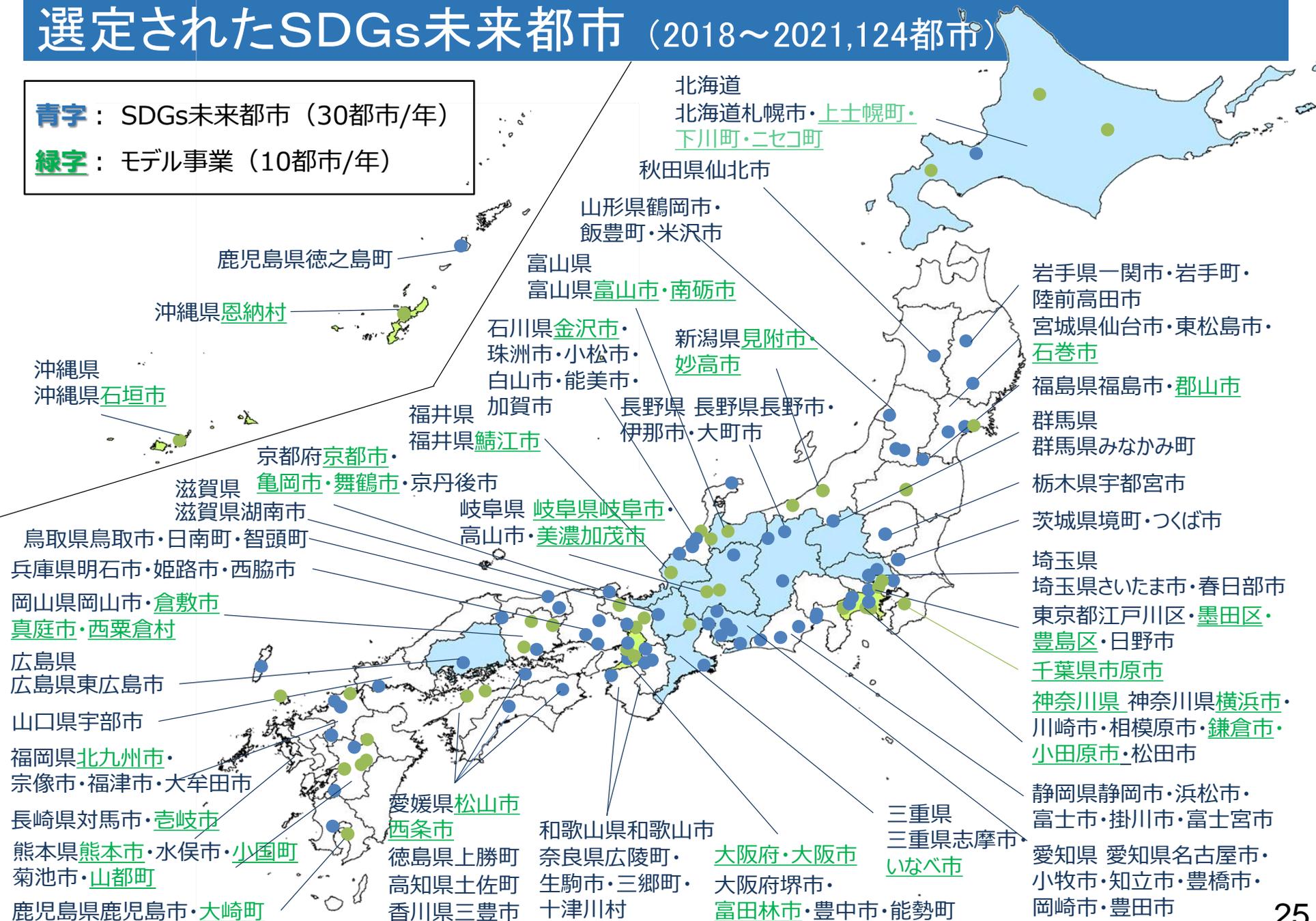
⇒ 配点による
重点項目の見える化

⇒ 地域活性化への誘導

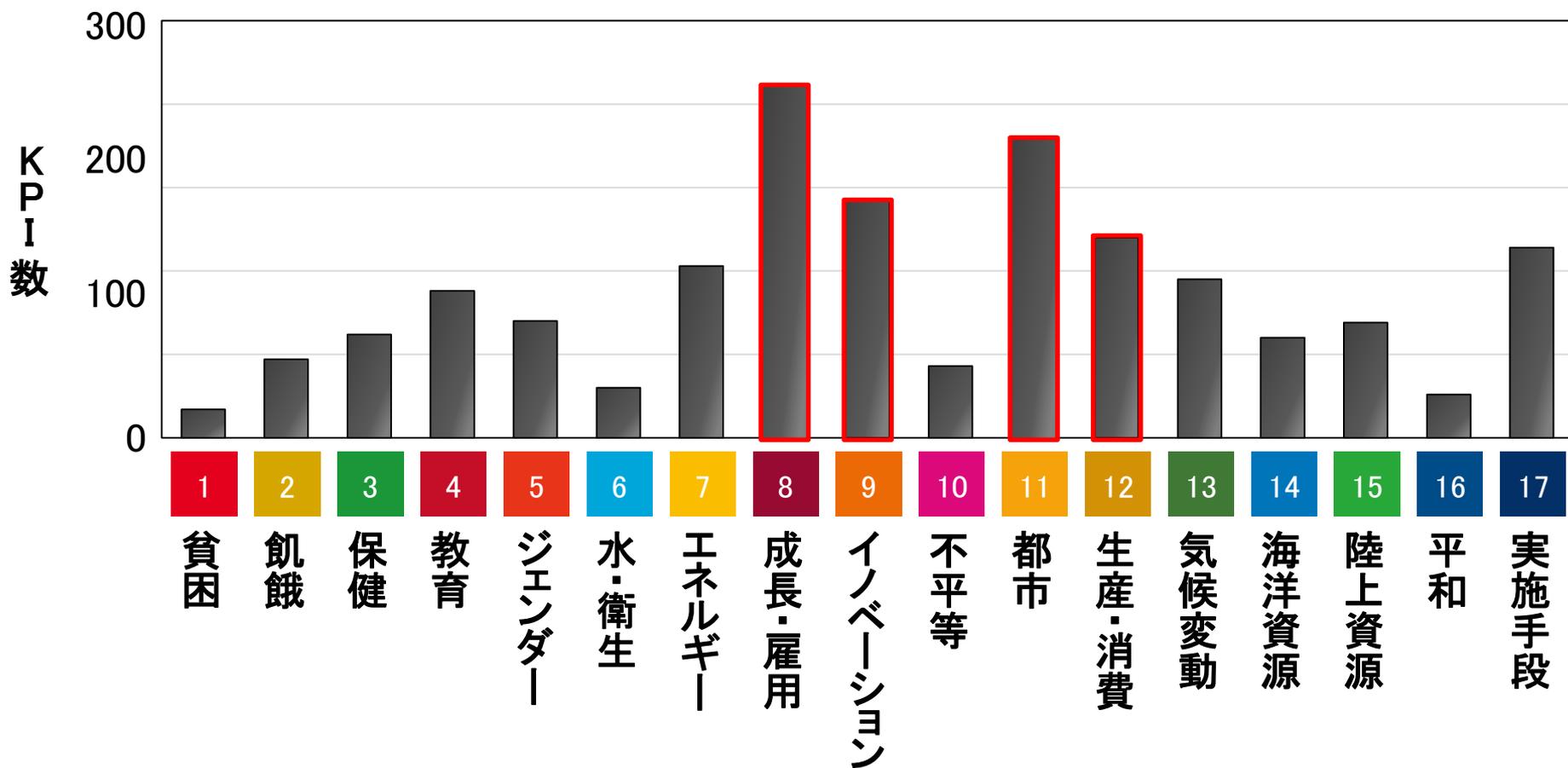
選定されたSDGs未来都市 (2018~2021, 124都市)

青字 : SDGs未来都市 (30都市/年)

緑字 : モデル事業 (10都市/年)



SDGs未来都市計画のゴールごとのKPI数^{文1)} (2020年度)



⇒ 経済活性化に向けた取り組みが活発

論点

1. 地方創生SDGsの活動概要
2. SDGs導入の促進と深化
3. SDGs未来都市
4. 官民連携による地域経済活性化

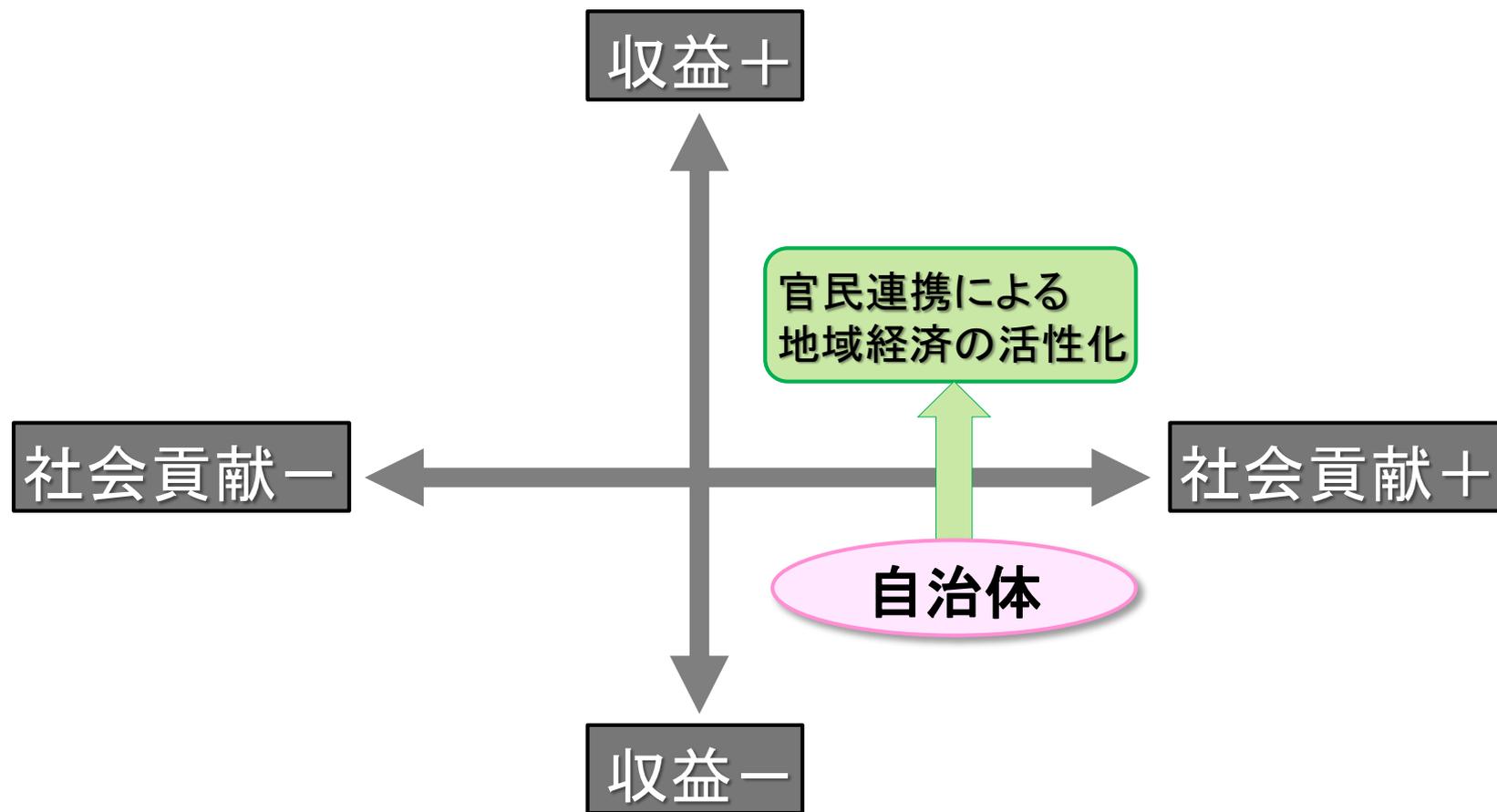
第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標 (2019.12.20 閣議決定)

1. **稼ぐ地域**をつくとともに、**安心して働ける**ようにする
2. 地方とのつながりを築き、
地方への新しい**ひとの流れ**をつくる
3. **結婚・出産・子育て**の希望をかなえる
4. ひとが集う、**安心して暮らす**ことができる
魅力的な地域をつくる

⇒ “稼ぐ地域” をいかにつくるか？

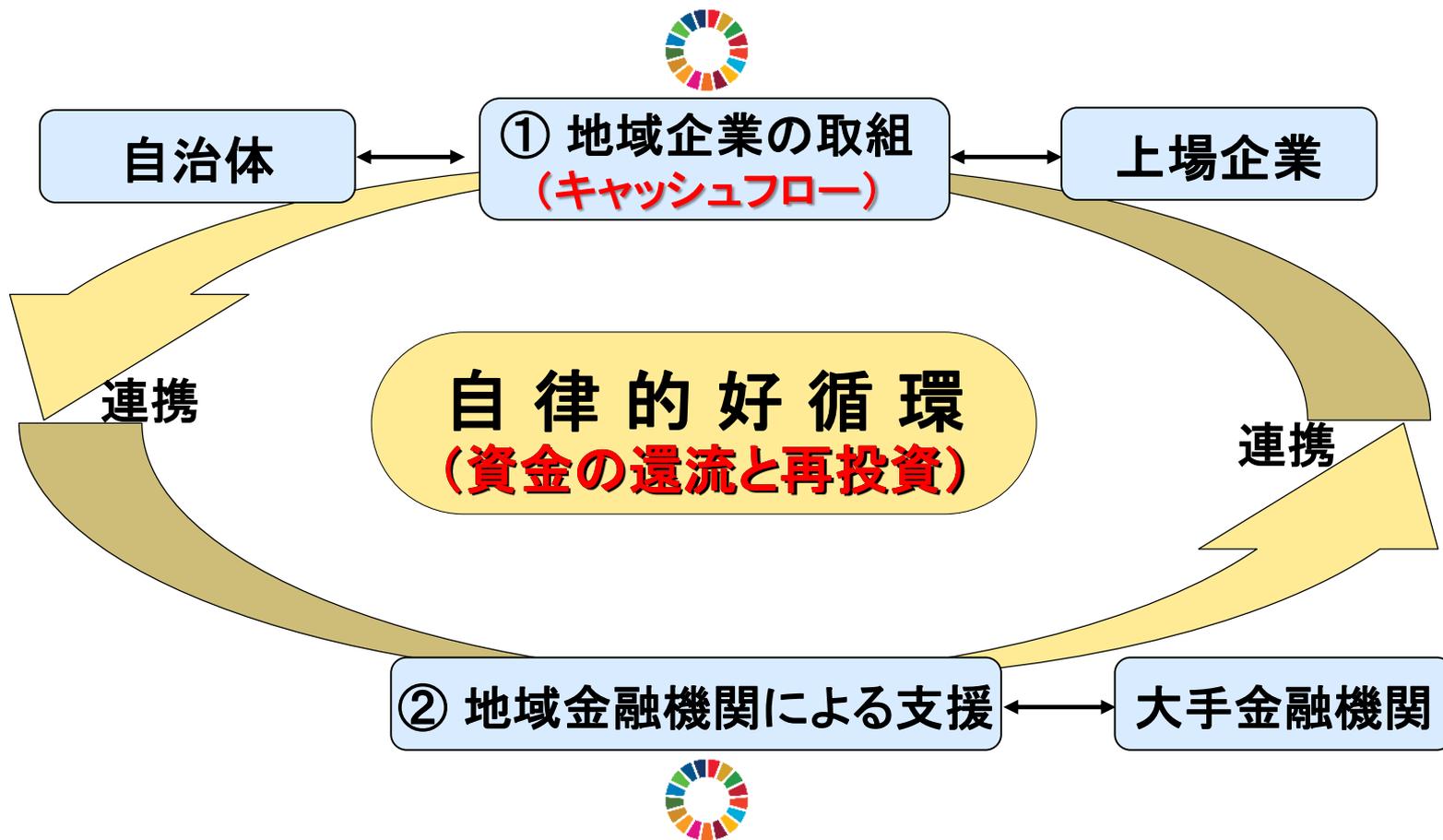
⇒ 官民連携プラットフォームとSDGs金融の推進

SDGs時代の自治体経営：自治体と企業の連携による地域活性化



⇒ 官民連携プラットフォームとSDGs金融の整備

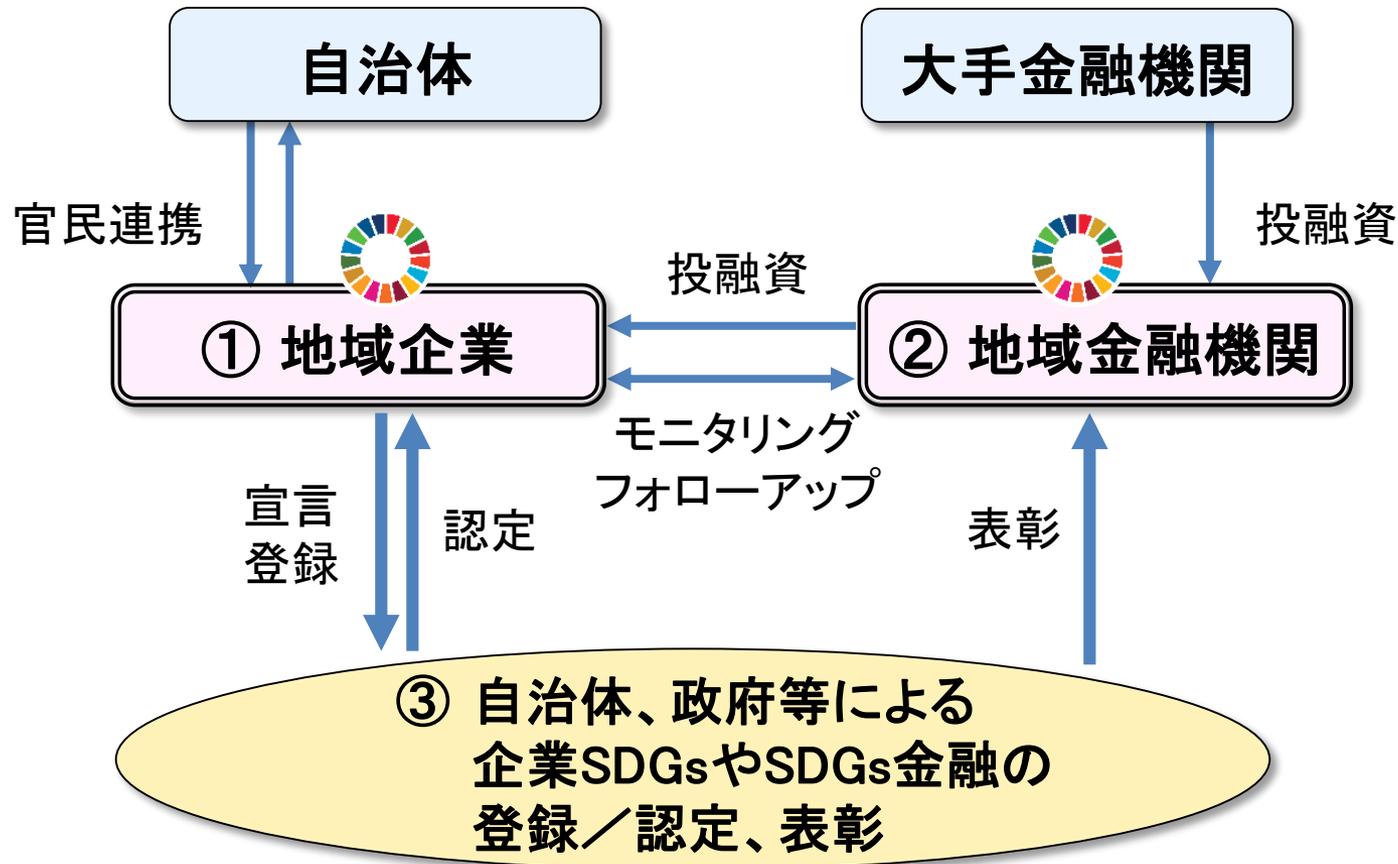
自律的好循環の形成



- ⇒ 地域企業は事業活動を通じて新たなキャッシュフローを生み出す
- ⇒ 得られた収益を地域に再投資して自律的好循環を実現する

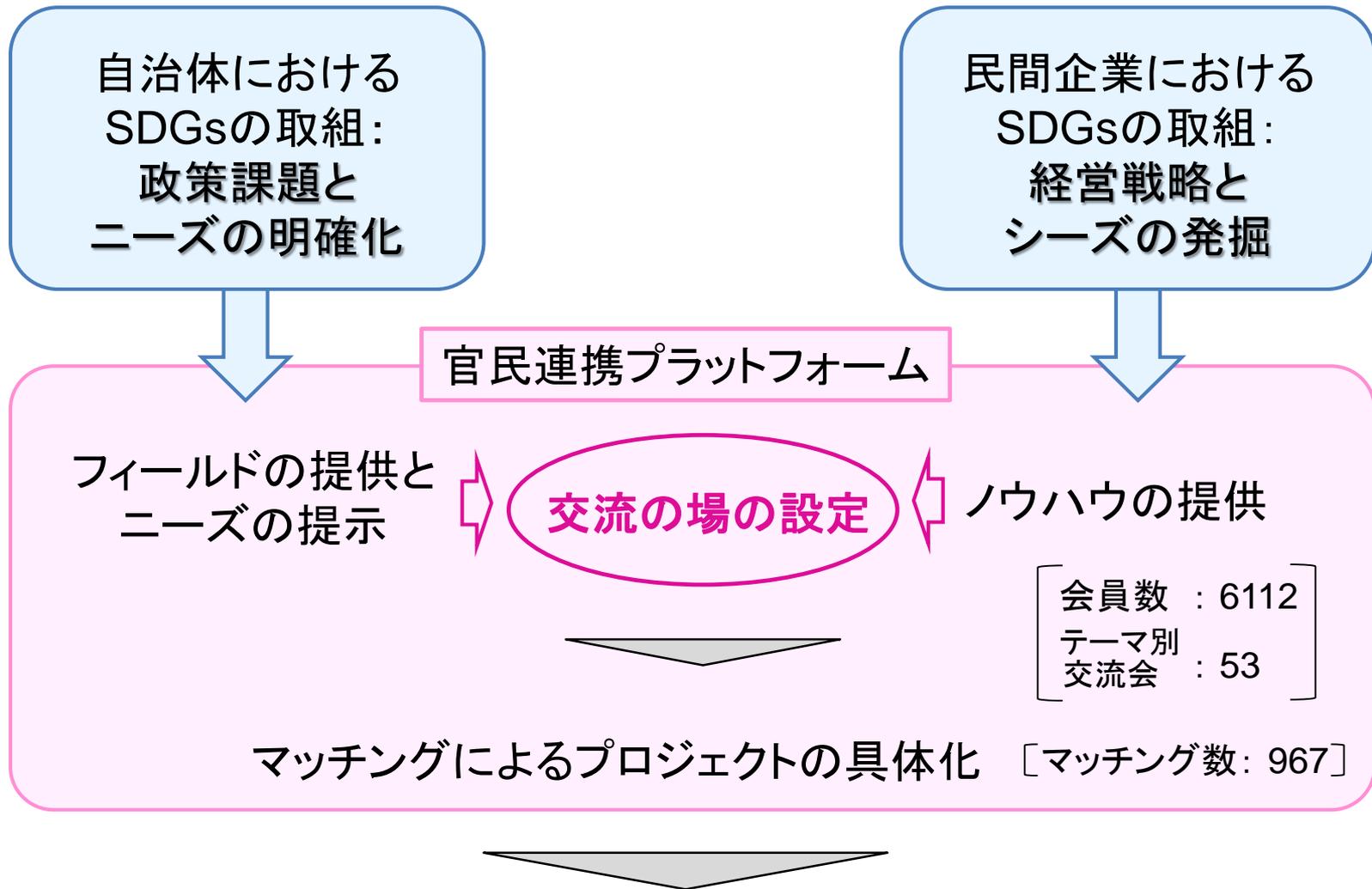
地方創生SDGs金融フレームワーク：認定と表彰

(地方創生SDGs・ESG金融調査研究会(2019.3))



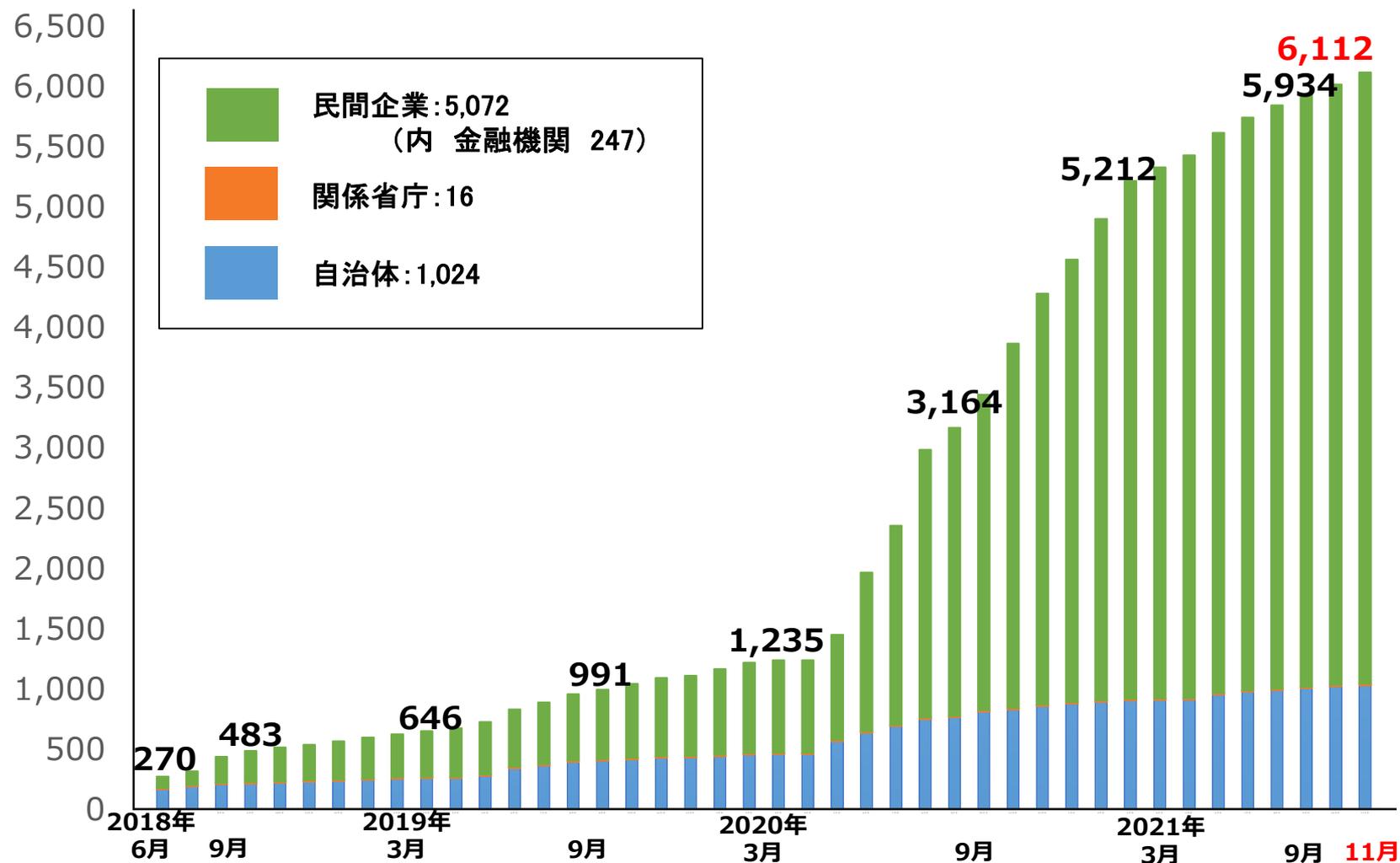
注 ②の表彰は金融機関と自治体の連携を対象とする。また大手金融機関が除外されるものではない。

官民連携プラットフォームの枠組



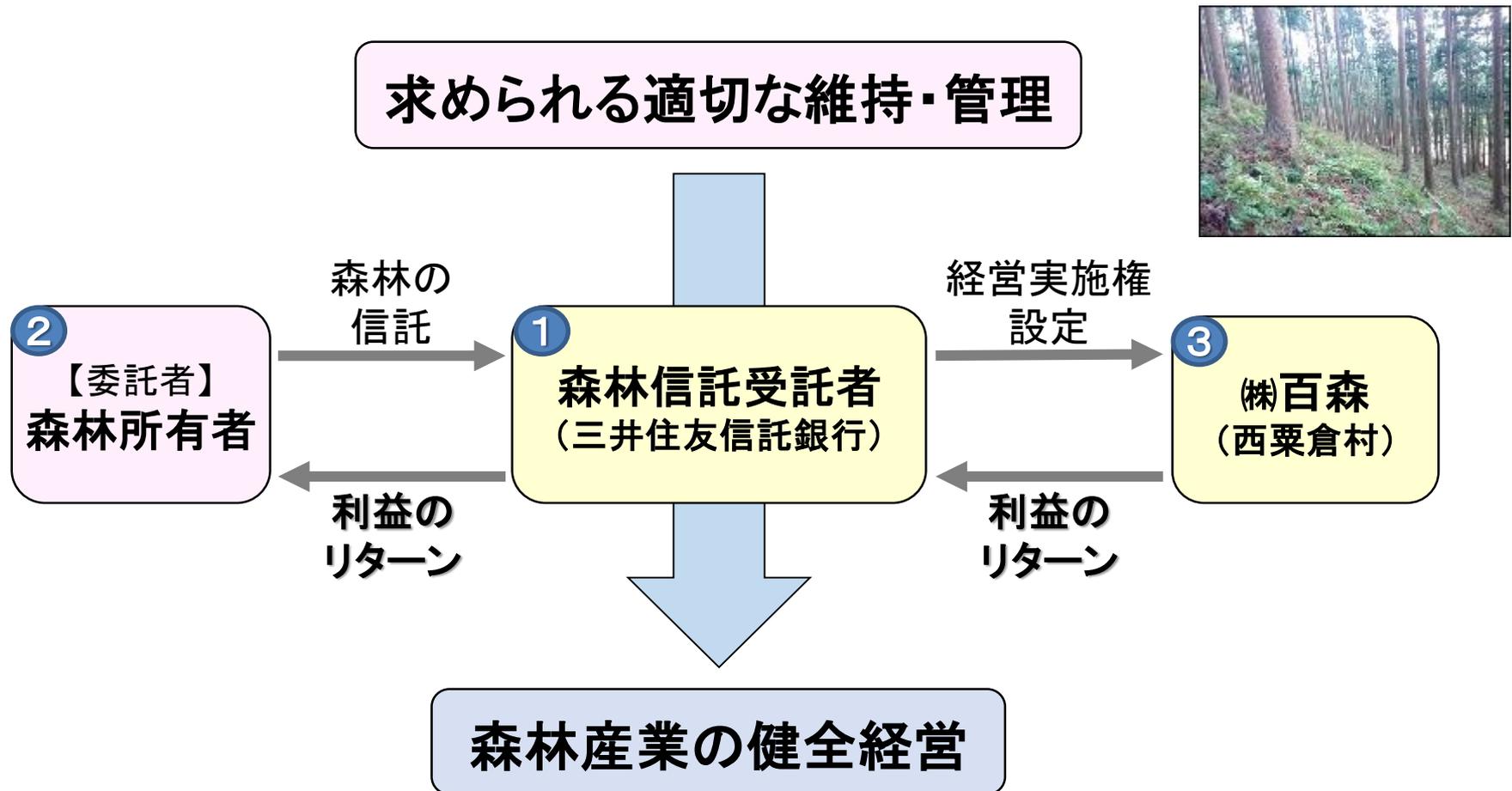
官民連携による地域経済の活性化

官民連携プラットフォーム会員数:6,112団体

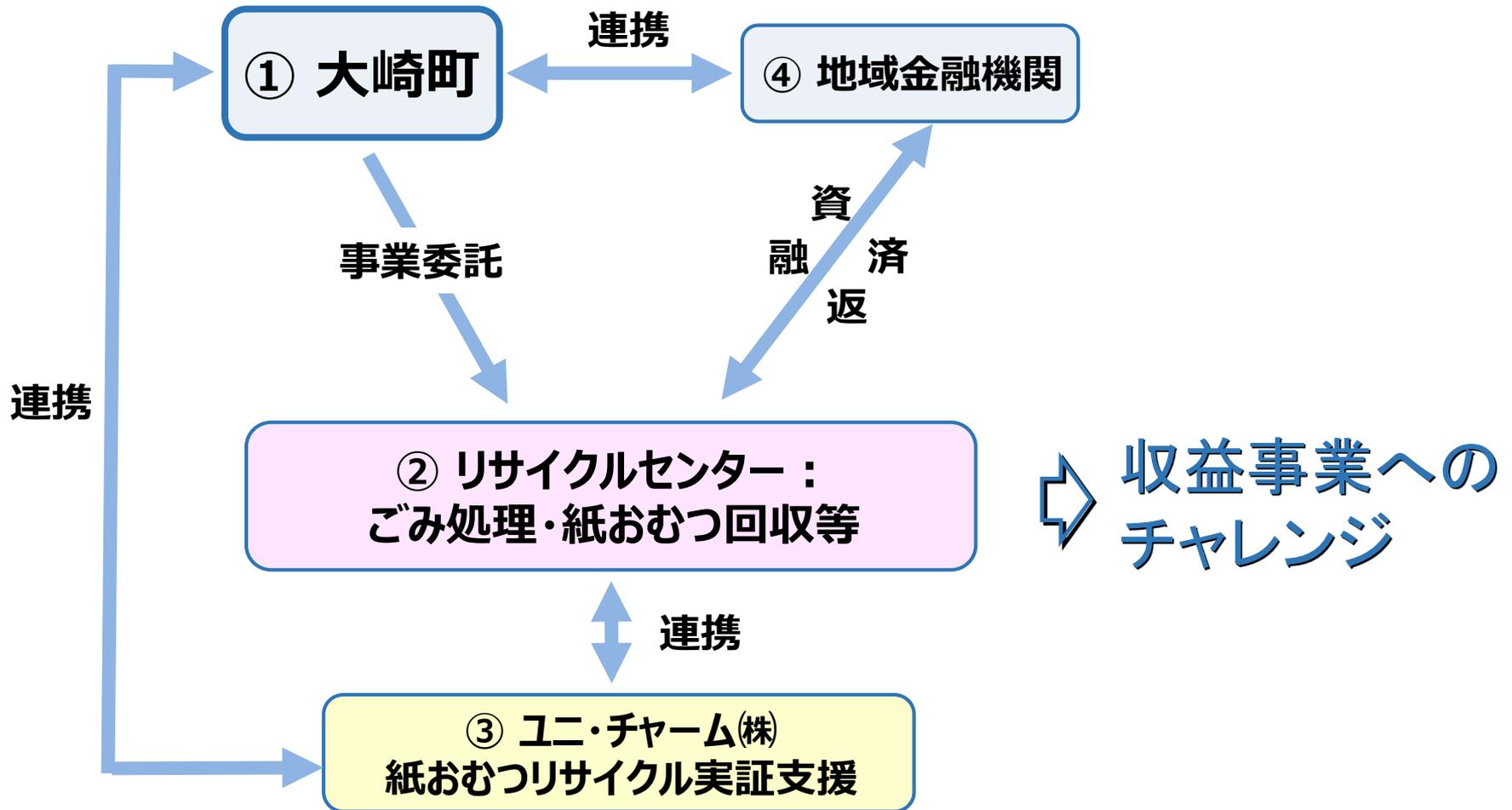


⇒ 多面的フュージョンが期待できる規模に成長

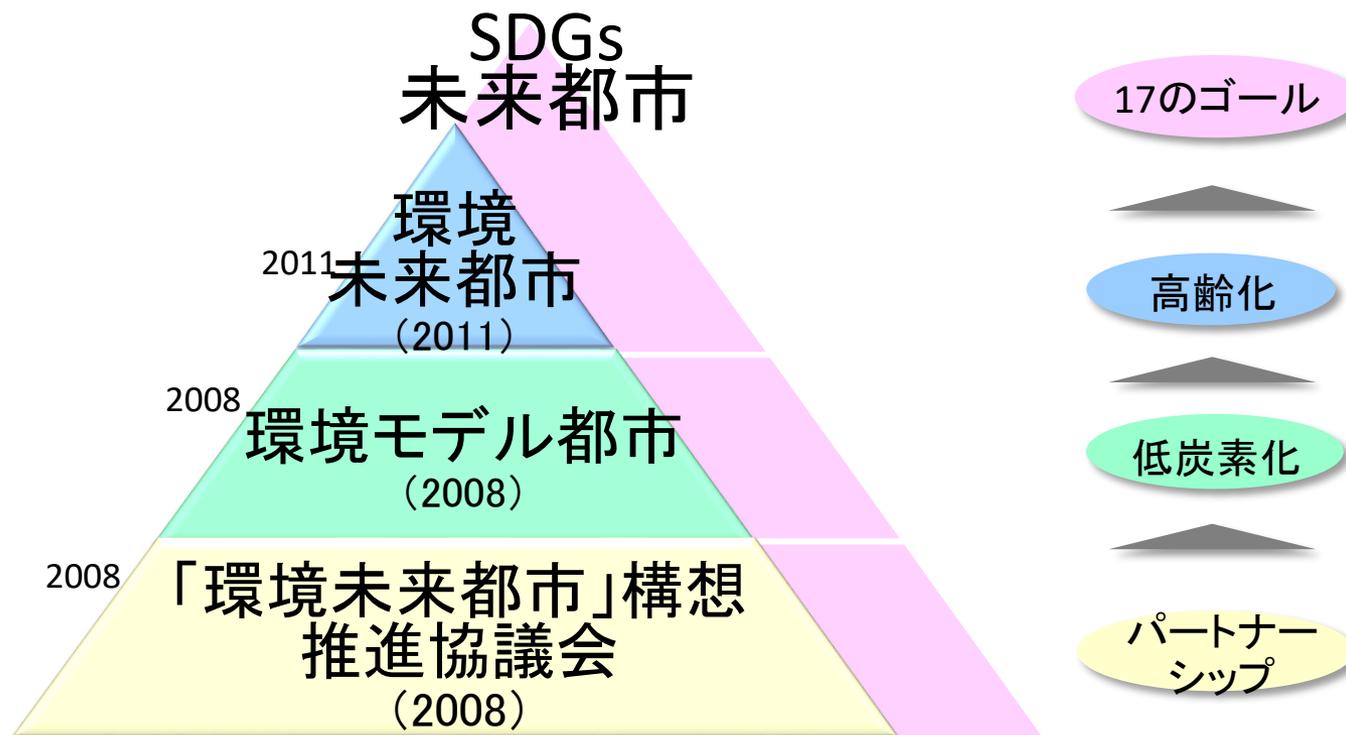
SDGs未来都市における地域産業振興の事例 西粟倉村(岡山県): 森林信託事業



SDGs未来都市における地域産業振興の事例 大崎町(鹿児島県):循環型廃棄物処理の大崎モデル



カーボンニュートラルと自治体SDGs



- ⇒ 自治体における低炭素化の取組の長い実績
- ⇒ カーボンニュートラルに向けて求められる
経済・社会・環境システムのパラダイムシフト
- ⇒ 新しい枠組みとしてのSDGsと官民連携への期待

ご清聴ありがとうございました

IBEC 一般財団法人
建築環境・省エネルギー機構
Institute for Building Environment and Energy Conservation

<http://www.ibec.or.jp/index.html>

JSBC 一般社団法人
日本サステナブル建築協会
Japan Sustainable Building Consortium

<http://www.jsbc.or.jp/index.html>